

戦後80年

真の平和を



2025
9.13 SAT
13:30~16:30
みえ県民交流センター
〒514-0009 津市羽所町700番地アスト津3階

戦後80年。太平洋戦争終戦の年に生まれた子どもは80歳、戦争体験を語れる人々が少なくなりました。
しかし、わたしたちは「あの戦争」を語り継ぎ、体験をしていなくても「想像力」をもって人間が引き起こす戦争の恐ろしさを伝えつづけていかなければなりません。
今この時も世界では戦争、紛争が起きています。戦禍のなかで泣き叫ぶ子どもたちがたくさんいます。
2024年に日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞しました。
日本は戦争被爆国として、「核兵器のない世界」の実現、核兵器廃絶を牽引しなければなりません。
2025年度グローバル市民講座では、ゲストにノーベル平和賞受賞式に参加された日本生活協同組合の二村睦子さん、三重県原爆被災者の会の山口詔利さんをお招きし、問題提起をしていただきながら、世界や日本の情勢を見つめ直し、「平和を実現するためにできること」について語りあいます。

問合せ

みえ市民活動ボランティアセンター

☎ 059-222-5995 ✉ center@mienpo.net

📠 059-222-5971 🌐 <http://www.mienpo.net>

共催：生活協同組合コープみえ・東海市民社会ネットワーク

申込方法

二次元コードよりお申し込みください。

（Googleフォームが開きます）

※フォームでのお申し込みが難しい場合は、お気軽に当センターまでお問合せください



戦後80年、 『真』の平和を問う

ゲスト



二村睦子さん

(日本生活協同組合連合会 専務理事)

1991年日本生協連に就職。「組合員・市民の参加の場づくり」の問題意識をもちつつ、平和・環境・子育て・消費者問題・災害支援などの取り組みを全国の生協の皆さんと推進。2021年より常務理事、今年6月に専務理事となり、2015年から「ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会」の理事も務めている。



山口詔利さん

(三重県原爆被災者の会 会長)

1944年、長崎市生まれ。被爆時は、爆心地から約1.5キロ離れた同市家野町に住んでいた。福岡県内の大学を卒業後、鳥羽市内のホテルに就職。ホテルで支配人も務めた。1980年ごろに三友会に加わり、2017年から会長を務めている。

プログラム

- 13:30～13:45 あいさつ
13:45～15:00 講演「ノーベル平和賞を受賞して思うこと」二村睦子さん・山口詔利さん
15:00～15:10 休憩
15:10～16:20 トークセッション「終戦80年、『真』の平和の実現にむけて～市民として」
16:20～16:30 ふりかえり

戦後80年に想う 平和な世界をつくりだすために わたしたちのメッセージ
2025年7月1日(火)～9月13日(土)

メッセージを書いて、当日ご持参ください。

※ご記入いただいたメッセージは、館内に掲示いたします。

1945年8月15日。
あの日から80年が経とうとしています。

あの戦争で命を失くした子どもや人々を覚え、今この時に戦禍にあって命を脅かされている人を思い、争いのない世界をつくりだすために、平和な社会をつくりだすために、

- ・なぜ戦争が起きるのだろうか？
- ・平和な社会をつくるために私にできることは？
- ・平和な世界をつくるために大切なことは？

みなさんの「平和への思い」をお聞かせください。

・・・グレーの線でキリトリ・・・